

教 育 委 員 会 会 議 録

令和7年10月

教育長	教育次長	学校教育課長	社会教育課長	会 議 ・ 区 分
				定 例 会
開会場所	加悦保健センター2階 農事相談室		担当書記	中 上 伸 午
会議日程	自 令和7年11月6日(木) 1日間 至 令和7年11月6日(木)			
出席者数	委員 5名 出席			
出席委員	教育長 長島 雅彦 委員 酒井 英隆 委員 植田 智子		委員 樋口 潔 委員 佐々木 和代	
欠席委員				
説明者	教育次長兼学校教育課長 中上 伸午 社会教育課長 小谷 貴儀 総括指導主事兼人事主事 森谷 秀博			
署名委員	委員 樋口 潔		委員 植田 智子	
その他	【傍聴者】 なし			

会 議 に 付 し た 事 件

項 目	件 名	結 果
審議事項	・なし	

協 議 及 び 報 告 事 項

項 目	件 名
協議事項	・なし
報告事項	・なし
そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期の問題事象・不登校について ・ 学力診断テストの結果について ・ 今後の予定について

教育委員会会議録

- 1 日 時 令和7年11月6日 午後1時30分から午後3時35分まで
- 2 場 所 加悦保健センター2階 農事相談室
- 3 議事の概要

[長島教育長]

それでは定刻になりましたので、令和7年度第9回与謝野町教育委員会会議を開催したいと思います。本日、会議の傍聴はありませんでした。

それでは、お配りしております日程に従いまして、会議を進行いたします。

日程第1「会議録署名委員の指名」についてでございますが、樋口委員と植田委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

(両委員とも了承)

[長島教育長]

承認をいただきましたので、よろしく願いいたします。

[長島教育長]

次に、日程第2、「確認事項」といたしまして、会議録の確認をお願いいたします。

はじめに、10月3日に開催いたしました令和7年度第7回教育委員会会議の会議録につきまして、修正等はありませんでしょうか。

[樋口委員]

一部文言の削除・訂正を事務局をお願いいたしました。内容として大きく変わるものではありません。

[長島教育長]

ご指摘の箇所を修正し、次回の教育委員会会議で承認・署名いただくことといたします。続きまして、10月6日に開催いたしました令和7年度第8回教育委員会会議の会議録につきましては、修正等はありませんでしょうか。

(委員からの修正なし)

[長島教育長]

それでは、ご確認いただけたということで本会議終了後に署名をお願いいたします。

[長島教育長]

続いて、日程第3、「教育長の報告」に入らせていただきます。

本日は午前の山田小学校訪問を終えたばかりですが、場所を変えて引き続き第9回の教育委員会会議にお集まりいただきましたことに、心より感謝を申し上げます。この時期には、学校訪問に加えて、各種の研修も予定されています。例年のこととは言え、ご無理をお願いする日程となっておりますことに、恐縮する次第でございます。

それではいつものように簡単なレジュメを用意しております。それに沿いながら話をさせていただきます。

さて、いつもお話する二十四節気では、明日が冬の気配が感じられる「立冬」、22日が寒くなって雨が雪なる「小雪」でございます。まさに朝夕に冷気を感じずる頃、一日の寒暖差に身体を合わせることに苦心がある日々となっております。皆様方も、くれぐれもお身体をご自愛いただきますよう、お願いいたします。

管内中学校の不祥事案ですが、10月7日に該当教員に任命権者である京都府教育委員会より懲戒免職処分がなされ、同日に免職辞令が交付されました。この日には、本町の中学校教員を含めて4名の懲戒免職処分が発表されました。残念ながら本町・組合だけでなく京都府全体で教育への信頼が大きく揺らぐ危機的な状況にあります。深刻なのは、4名というかつてない人数とともに、処分された4名全員が、6月下旬に名古屋市や横浜市の教員による盗撮事案が明らかになった後にも、各学校で研修などが実施されているにも関わらず、行為・行動が止んでいなかったという、まさに恥ずべき事実があることです。

教育委員会からは翌8日に別紙にあるような全保護者宛に謝罪文書を配布いたしました。そして15日には午前の京都府内の小中学校の校長を召集した臨時のコンプライアンス遵守に係る会議がなされ、午後には同様の趣旨で町（組合）の全教職員の研修会を実施いたしました。当日は、私からの訓示、教育委員を代表して樋口委員からの話、森谷総括指導主事からの本不祥事案の経過・問題点の指摘及びコンプライアンスに関わる講義、そして該当中学校で生徒・教職員の心のケアにあたっていただいているスクールカウンセラーの講義という内容でした。当日の様様については、代表としてお世話になりました樋口委員からのご感想、そして参加された教職員の感想や今後の研修の進め方については、森谷総括指導主事より、この後にお願ひできればと思います。なお、参加された教職員のアンケート結果は別紙のとおりでございますので、お時間のあります時にご一読お願ひできればと思います。

続いて主な行事ですが、まさに芸術文化・スポーツの秋となりましたが、前回会議の10月6日以降の校園と社会教育の主な行事は、レジュメにあるとおりです。10月8日に京丹後市の「はごろも陸上競技場」で開催された「与謝地方小学生陸上運動記録会」は、前回会議でも申しましたが、昨年度までの与謝野町陸上記録会が宮津市と伊根町と合同し、6年生児童が一同に会する形での開催となったものです。公認陸上競技場での経験は、多くの児童にとって初めてであり、記憶に残るものになったと思います。

そして10月の中学校駅伝と中学校新人大会では、3中学校がそれぞれ活躍・健闘してくれました。結果については別紙のとおりでございます。なお、中学校駅伝では6位までですが、今月8日に開催される京都府大会に出場いたします。また、中学校新人大会では、バスケットボール、サッカー、軟式野球、バレーボールの4種目が合同チームでの出場となりました。本町の部活動のいわゆる地域移行については、子どもたちの活動を平等公平に保障する観点、今までの部活動の教育的意義を尊重する形で、地域移行ではなく合同部活動、部活動指導員によるサポートを柱とする地域連携という形で進めています。その一環

として、合同チームでの大会出場という形となっています。そして来週12日に開催される小学生駅伝競走大会は、今年度から平日での開催となります。

社会教育では、今月上旬には与謝野町文化祭とともに各地区での文化祭も開催され、子どもたちの多くの作品が展示され、芸術文化の秋に彩を加えています。また、例年のないものとして、「女工哀史」で有名な細井和喜蔵没後百年記念イベントやちりめん街道・伝建地区選定20周年記念イベントが、今月24日に大々的に開催されます。このちりめん街道に関わるイベントには、加悦小学校5年生児童が、ちりめん街道についての探究活動の発表をいたします。

次に10月より再開いたしました学校訪問、本日で長丁場の中盤を過ぎたところでございますが、誠にお忙しい中をお世話になり恐縮いたします。引き続き、委員の皆様より忌憚のないご意見をいただき、校長先生だけでなく、教職員が住民目線、地域目線で学校を見つめる、または見つめ直す機会になればと願っております。

最後、その他になりますが、本日は各種の報告がございます。この後の時間、何卒、よろしく願いいたします。

[長島教育長]

私の方からの報告については以上ですが、最初に樋口委員からご感想やお感じになられたところがありましたらお願いしたいと思います。

[樋口委員]

僭越ではありますが教育委員を代表して、お話をさせていただく機会を頂戴しありがとうございます。文面の内容については教育委員様と共有させていただきまして、こういったお話をさせていただこうという事で、お話させていただいたのですが、やはり自分の中にも少し気の緩みがあったのかと思います。

と言いますのは、年当初の校園長会において、本来、何故この場に教育委員が立ってお話をするのかという根本のところを教育長からもお話をいただいて、自分なりにそういった思いで臨んでいたつもりではありますが、やはりどこかに気の緩みが自分自身にもあったという所をお伝えしたのと、不祥事を無くすという事がいかに難しいか、今まで諸先輩方が色々な形で努力をされてきたにも関わらず、こういった内容・行為が行われるという事が残念ではありますが、消える事が無い中で、私共は地道ながらも、1つずつ与えられた仕事をして、自分の中に心の中にきちんとした思いを持って、1つずつの仕事をして、与えられたことに対しての対応をすべきだろうという事を皆さんの前でお話しさせていただきました。皆さん静かに聞いていただきましたので、これも何か少しでも役に立てたのではないのかと思っています。

もう1点は明るい話ですが、音楽フェスティバルを拝見・拝聴させていただき、子ども達が1つになって歌声を響かせてくれるという事は本当に音楽の力だけでなく、何か力を合わせて1つのことを行うという事が学校教育の中で素晴らしい効果がある。また、それぞれ子ども1人1人の力になっているという事を感じながら、昨日、拝見拝聴させていただきました。これがずっと続いて町の1つの教育の形として継続する事を希望します。

[長島教育長]

森谷総括指導主事より研修会に参加された教職員アンケート結果についての説明と、今

後の進め方についてお話をさせていただきたいと思います。

(森谷総括指導主事兼人事主事より資料に基づき説明)

[長島教育長]

樋口委員からも当日の感想等を含めてのお考え、そして、森谷総括からアンケート結果の概要と今後の進め方についての説明をしていただきました。私の報告を含めてご質問等をお願いできればと思いますがいかがでしょうか。

[酒井委員]

アンケートを帰ってからしっかりと読まさせていただこうと思いますが、これは要するに10問あって、それぞれの答え一覧のものと、項目別に分けて同じ答えが載っているものという事ですね。この一覧に載っているものと、分けて載っているものが答えとしては重なっているものもあるという事ですね。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

全て生の声ですが、同じ観点で書いているものを集めて付けているという事になります。

[長島教育長]

他に質問等はいかがでしょう。佐々木委員お願いします。

[佐々木委員]

少しだけ拝見して、正直な意見として「迷惑」という内容があり、一人がした事が全体もそう見られてしまう所がありまして、それを本当に皆さん分かってもらって、そうして行くしか無いのだろうと思いつながら今回の事件は受け止めています。あと、子ども達にどのような影響があるのか、とても危惧しているところです。

[植田委員]

皆さんと一緒にですが、このまとめられたものを当事者の方に、皆さんのご意見を受け、厳しいかも知れませんが見てもらうというお考えはありませんか。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

あくまで私個人の意見ですが、少し難しいかと思います。

[植田委員]

これはこれで、まとめられていまして後々まで役立つ・認識するために必要だと思えます。気になっているのは、一緒に働いている教師が、「自分も同じ様に見られている」とどこかで書かれていました。当事者ではありませんが、その中学校の先生と言われるのがすごく気の毒で、その辺はどうにもなりません、心痛むところでもあります。

[長島教育長]

他にありますか。植田委員お願いします。

[植田委員]

その様な事が起こった事はとても悲しいのですが、それを上手く消化して子ども達もできるだけ影響のない様により良く生きられる様をお願いします。

[長島教育長]

この件につきましては、このアンケート結果から更に方向性を示して行くこともありますので、また皆様にはその都度ご報告をさせていただくという事でよろしくお願ひいたします。本当にたくさんの資料ですので、後ほど見ていただければと思います。

[長島教育長]

次の日程の第4「その他」ですが、その前に暫時休憩とします。

(暫時休憩)

[長島教育長]

休憩を閉じ、会議を再開します。

[長島教育長]

続きまして、日程第4「その他」に入らせていただきます。「1学期の問題事象・不登校について」、森谷総括指導主事兼人事主事 お願いします。

(森谷総括指導主事兼人事主事から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何かご質問等ございますか。

[樋口委員]

2点教えて下さい。1点目はいじめ調査に係る状況報告のまとめが、6・7年度とあります。検証という事になっているのですが、6年度の数字は同時期、例えば1学期が終わった時点の数字なのか年間の数字なのか教えてください。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

同時期の数字となります。

[樋口委員]

減少しているという事で分かりました。それともう1点ですが、1ページ目の問題事象、小学校の内訳の所です。その他が2件ですが、9件中2件という事ですので、パーセンテージで言うと小さな数字では無いので把握しておく必要があるのかと思いましたが、内容について教えていただける所がありましたらお願いします。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

前日もそうでしたけど、その辺りの中身については、確認をしておきます。

[長島教育長]

他にありますか。植田委員お願いします。

[植田委員]

不登校の件数ですけれども、中学校について聞いてみたいです。学校毎での違いが多い・少ない等はあるのでしょうか。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

(概要について説明)

[植田委員]

この集計で橋立中学校は入っていますか。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

入っています。

[長島教育長]

他に質問等はありませんか。

[佐々木委員]

不登校という部分につきまして、行きたいけれども行けない子どももいれば、行きたくないから行かない子どもの線引きをどうしたら良いのか、行きたいけれども行けない子どもは色々な手立てが考えられるのかと思うのですが、行きたくないから行かない子どもはどうしたら良いのかと思いました。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

様々な理由がありますが、自らの意思により行かないと決めている子どもが中にはおります。先程、進路の選択肢が非常に増えているという話をしましたが、保護者が家で面倒を見ると申される家庭もあり、非常に難しいところがあります。

将来的にどうなるかを見た時に、学校に行かなくても十分勉強できている子どももいるという例になるのかも知れませんが、その年代に応じた学校生活の中で、友達との関係を学びながら身に着けて欲しいと学校勤務であった立場として思う所であります。

[植田委員]

今まで中学校で不登校をされていて、その後の成長や進路を追跡される様な事は無かったのでしょうか。

[長島教育長]

基本的にそういう調査はありません。その子どもが中学校から高等学校になってどうだったかにつきましては、公の調査はありません。

[植田委員]

ひきこもりや不登校をされていた子どもが高校生になってから不登校が改善したり、就職をしている等のデータがあれば、余裕を持って見守る事ができるのかと思い、質問しました。

[長島教育長]

中学校の時にどのような状態であったのかという事は、高校入学後に引継ぎは全てしています。

[植田委員]

高校に殆どの子どもが進学していて、不登校をしていると先が見通せない不安の方が大きくて、親や子ども不安になっていると思いますので、受け入れられる進路先を先生に言っていただくとありがたいと思います。ゆっくり休んでから、頑張っって勉強をする気持ちになれるとちょっと選択肢も広がっていくと思います。

[長島教育長]

森谷先生、実際の進路指導はどうでしょうか。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

昔の様に切磋琢磨して行かなければならないという感じでは無くなりつつありまして、難しい所はありますが、何かしらの高等学校には全て進学できている状況にはなっていません。

[長島教育長]

(高等学校の現状について補足説明)

[酒井委員]

私が委員をさせていただいてから10数年の間も出続けている問題でして、高校を卒業して社会人や大学に入る時に、不登校の子どもがどの様になっているかという調査につきましては、労力の事を考えてもそこまでの事ができない現状があります。

調査を必要とする理由として、それを見る事によって現在の不登校の子どもにされている支援が、どれ位効果的になるのかを知るために、そこで子どもがどう成長されているのかをデータとして取れないかという意見がよくでてきます。

SNSやインターネットを使って、もしもできるのであれば一度、挑戦しても良いのかと思います。働き方改革の妨げにならない範囲ですが、もしデータがあれば今後の不登校の子どもの支援に役立つのでは無いのかと思います。こちらが1点目になります。

2点目は佐々木委員からありました様に、自分の意思で学校に行かない子どもについてですが、昨年度の2回目の調査の時に森谷人事主事にお伺いして、後日、お返事をいただいて、調査した時点で3人は自分の意思で行かない子どもが確認できたというお話でした。

自分の意思で行かない子どもも不登校である事には変わらないのですが、第1は行きた

くても行けない子どもに対する支援が一番であろうと思います。ただ自分の意思で行かない子どもは、その学校に行こうと思う価値や魅力が無いから行かないのかと思われます。

そこは、どういう理由かは分からないのですが、その子どもが思う部分を補うために学校側も変わらなければならないのかと思います。

この前お伺いした時に、1人は進学のために自分で勉強をされていて学校に行かない子どもがいました。1人の子どものために特別な教育をする事はできないのかと思うのですが、勉強したい子どものニーズに答えられないのはいかがなものかと思いますので、必ずしも自分の意思で行かないから置いておくのでは無くて、その子どものためにできる事を考えなければならないのではないかとお話を伺って思った所です。これが2点目です。

3点目ですが、先程不登校の未然予防の話をしていました。不登校の未然予防については学校訪問をさせていただいて思う事として、小学校についてはどこの学校も同じ事を言われるのですが、子どもを見る時に担任の先生が1人で見るとは無くて、学校全体で見ている。そうした所が不登校の予防や問題事象の予防に繋がるのであろうと思います。それに対して中学校は教科担任制ですので、担任の先生が1日中、自分のクラスを見る訳ではありませんので、小学校とは目の行き届きやすさに関しては随分違うのかと思います。

中学校の不登校・問題事象も含めて、未然予防という所は小学校とは違う観点で何か必要なのかと感じました。

[長島教育長]

不登校の追跡調査はデータとして与謝野町以外の所で、そうした調査を行っている自治体があるのかどうかを確認できればと思います。個人情報を集めるという事になりますので難しさがあります。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

最後におっしゃられた、家で勉強するから学校に行かないという子どもに対しての所については、学校もそこに答えていかなければならない部分として、確かにその通りだと思っています。

かつて、全体指導の中で行う個別指導という事を盛んに言われた時期がありました。1つの器に1～5段階の子どもがいるとした時に、1の子どもを2に引き上げる指導を、4の子どもを5に引き上げる指導を1つの器の中で追い求めなければならないと言われていた事があります。それは今でも同じなのかと思いますし、非常に難しい所だと思っています。

[長島教育長]

続きまして、「学力診断テストの結果」につきまして、森谷総括指導主事兼人事指導主事から報告をお願いします。

(森谷総括指導主事兼人事主事から資料に基づき説明)

[長島教育長]

何か、ご質問等ございますか。

[長島教育長]

中々、見方が難しい部分があります。単純に点数で比較する部分は分かりやすいですが、詳細になると、いろんな面から見ていかなければいけないので、少し内容を読み取るのに時間がかかるかと思います。ご質問を含めていかがでしょうか。

[樋口委員]

今日、IRT等と初めて伺った事もありますが、次回までに時間を掛けて見させていただきま。これはどういったものであるかについて説明をいただいたのですが、理解できてない部分がありましたので、また質問するかも知れませんがよろしくお願ひいたします。

[長島教育長]

学力の部分については非常に重要な課題ですので、今日は資料を見ていただく時間を取って、この資料を元に意見交換ができればと思います。読み取りには時間が掛かると思いますので、次回、継続の議題としてお願ひします。特に資料の読み取り方でご質問があればと思います。

[酒井委員]

このIRTのイメージでは偏差値の中央値が500で、それを基準に動かしていくという事で良いのでしょうか。

[森谷総括指導主事兼人事主事]

そうなりますね。

[長島教育長]

8ページのIRTの理科の箇所にあります、全国・京都府との比較のパーセントを見ますと傾向が出ています。与謝野町は学力の傾向として、最上位の層と最下位の層のパーセントが低いです。それに対して、京都府でも全国でも学力の最下位層がかなりのパーセントいるのに対して、与謝野町と中学校組合はそこは少ないです。ということは、ある程度1人1人に対して丁寧な指導をしていただいて、学力が本当に苦しい子どもに対して、手立てはしていただいていると言えます。

逆に最上位層の5のところが少ないのも当然で、例えば、京都市内でしたら、小学校から中学校に行く時にクラスの半分位が私立の受験をします。中学校から高等学校に行く時も、一定の競争がある市内は、学力上位層の勉強をしなければならないという様な意識は高くなります。与謝野町においてこの層が薄くなるのも、これも当然です。

従って与謝野町と中学校組合はこの学力の真ん中よりちょっと下のところにボリュームゾーンがあります。ここに対して手立てをしていくということが、教育・学力向上に対する課題としてあるという実態が見えてきます。

京都府や全国は、万遍なく最上位層から最下位層と幅広く、手立てが打ちにくいのに対し、与謝野町と中学校組合の場合は、ボリュームゾーンの所に手立てをするということで、この数字においても見やすいと思います。それでは次回、またお時間取らせていただくということで、よろしくお願ひいたします。

[長島教育長]

それでは、他に事務局からありましたらお願いします。

[中上教育次長]

次回の教育委員会会議の日程調整をさせていただきたいです。

(次回、教育委員会会議の日程調整)

[中上教育次長]

次回の教育委員会会議については、11月21日(金)となります。午前9時30分からお世話になりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

[長島教育長]

以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

午後15時35分 終了

教育長

委員

委員

書記

教 育 委 員 会 日 程

日 時：令和7年11月6日（木）

午後1時30分～

場 所：加悦保健センター2階農事相談室

日程第1 会議録署名委員の指名
樋口委員 植田委員

日程第2 確認事項
会議録の確認

日程第3 教育長の報告

日程第4 その他
◇1学期の問題事象・不登校について
◇学力診断テストの結果について
◇今後の予定について